

身近な人をなくしたこどものつどい

親やきょうだいなど身近な人を亡くすと、悲しみだけではなく、恋しさ、自責の念や怒りなど、様々な感情がおこります。グリーフと呼ばれるこの反応は、誰にでもおこるものですが、こども達も普段の生活の中ではあまり話す機会がなく、一人で抱えがちです。

つどいではファシリテーターと呼ばれるスタッフがこども達のサポートをしながら、こども達は自由に時間をすごします。話してもいいし、話さなくてもいい。遊んでもいいし、何もせずゆっくりしてもいい。こども達が自分の感情に丁寧にふれながら、安心安全に過ごせる分かち合いの場を目的としたプログラムです。

対象 身近な人をなくしたこども（小学生～中学生）

※幼児、県外は応相談

※別室で保護者のつどいも行います（自由参加）

定員 5名程度

日時 2026年5月31日（日）

13時 受付開始、13:15開始 16:20終了

場所 広島大学病院 広仁会館（地図は裏面）

参加費 無料（次回は8月16日（日）広仁会館を予定しています）



ワンデイプログラムってどんなことをするの？

はじめりのわ：わになってみんなで自己紹介^{じこしょうかい}

じゆうなじかん：自由にすごします^{じゆう}

おやつなじかん：おかしやジュースがあるよ

おはなしなじかん：お話し^{はな}したり、自由^{じゆう}にすごしたり

おわりのわ：わになってみんなで感想^{かんそう}をはなします

はなしたくない
ことはパスもOK

主催・お問い合わせ グリーフサポートひろしま

griefhiroshima@gmail.com

共催 広島大学病院（小児がん拠点病院事業）

協力 一般財団法人あしなが育英会

【申し込みフォーム】



会場地図

(構内に駐車場あり)



「グリーフサポートひろしま」について

広島県全域のグリーフを抱えたこどもとそのご家族に適切なグリーフサポートを提供できる体制づくりと実践のため、2024年9月に「グリーフサポートひろしま」を設立しました。

当団体では①市民を対象としたグリーフに関する講演会、②グリーフを抱えたこどもとそのご家族を対象としたグリーフプログラム、③プログラムでこどもと遊んだり話を聞いたりするファシリテーターの養成講座、の3つを中心に活動を行っています。

グリーフを抱えたこども達にとって、思いを分かちあえる仲間がいたり、こどもらしく遊べる機会があったり、グリーフについて話したくなかった時に話せる相手がいたり、グリーフプログラムはそんな安心安全な場にしたいと思っています。またこども達にとって、こどもと関わる様々な仲間や大人がこどものロールモデルにもなります。これからも活動を通じて多くの方にこどものグリーフやそのサポートについて知っていただき、グリーフサポートの輪が広島で広がっていくことを願っています。

グリーフサポートひろしま
代表 土方 希 (小児科医)

